

十年一昔 (その二十五)

旧大総中学校界限

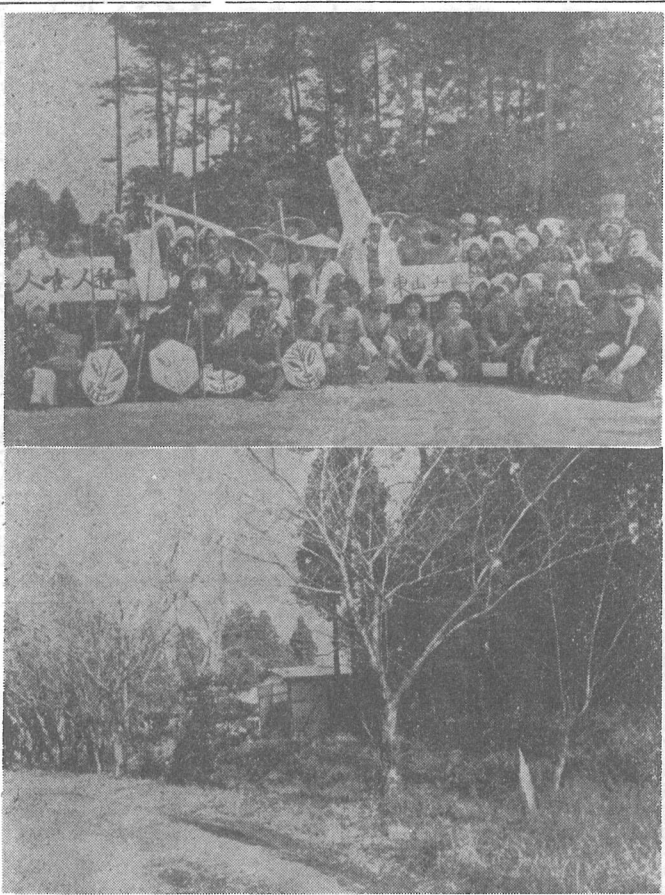
給食センター 小沢所長寄稿

町村合併後の数年は横芝町の青年活動が一番活潑な時期でした。特に、大総地区では四日クラブを中心にしてレクリエーションと家庭の生産活動を結びつけた団体活動が旺盛でした。何時か本紙で契約栽培の走りと言って紹介したことがあります。父兄から一畝か二畝の耕作権をもらって行なうクラブ活動も擡頭し始めていた頃です。その頃の青年はよく中学校に出かけて当直の先生等を囲んで雑談に花を咲かせたりしていました。先生方も心よく迎え入れてよい話相手になっていたようです。こうした場面は町の青年というよりは、中学校のOBが母校を訪問するといった姿でした。そんな風でしたから運動会等には、卒先して学校に協力し準備を手伝ったり、自分達もプログラムに組み入れてもらって参加するということも多かったのです。

まだ町村合併後間もなかったで、従来の慣習が残っていて秋季運動会は大総中と大総小が合同で開催し消防の人や婦人会も一緒になって楽しんでたものです。この運動会で

青年が行なう仮装行列は、老席に招待した人を始め一般の参観者や小中学校の子供さんまで盛りだくさんな程でした。青年の人達もまたこれに応えようと地区毎に極秘の趣向をこらしてその日を持ったのでう。

その後、昭和三十六年に事実上の中学校統合が行なわれて先生も生徒も新校舎に移ってしまいました。それでも主の居ない校庭の辺りには何となく集ってくる青年の姿が見えました。しかし、この敷地が建物と一緒に町の手を離れたという話を聞いた頃からは遠慮もあるのでしょうか何時か足を向ける青年も減り、私達の学舎の感も薄らいできたようです。学び家といえは一年に入学すると必ず入った裏門寄の校舎(この校舎は元青年学校の教室であったのを昼夜がかりで県道伝いに家ひきをして移したものです)も、音楽室を兼ねた講堂も取払われてその跡は野菜畑になってしまいました。唯、一棟だけ残った校舎の窓の白いカーテンが僅か当時を忍ばせていま



◎写真上は昭和三十二年頃の秋季運動会仮装行列の記念撮影です。この取材中「まあ暫らくですわ」と声をかけられ「振向くと元婦人会役員であったK婦人でした。広報取材の旨を話しながらこの写真を示しますと「仮装大会ですね、家にもありますよ。この軍服は〇〇の仁ちゃん、土人みたいなのは〇〇の茂さん、ほらこのマフラをかむった人は〇〇の勇さんですよ。大川橋でね。まあまあ家の伴が女の子の格好なんかして」とひと

しきり写真の説明をしてくれました。丁度その時いま一人の婦人が通りかかったので二人に「随分変わったでしょうね」とたずねると「変りましたね、ほらこの桜も写真には写っていないでしょう。また一メートル位でしたからね。堤にも今はお茶の木が植えてあります昔はつつじが植えてあったんです。あの頃は卒業生がよく記念に庭木を植えましたから殊によると桜やつつじも卒業生の寄附だったかも知れませんよ。それから話は古くなりますがこの校舎を建てたが釘等が不足で地元出身の東京の業者を頼って雑のうを背負って仕入れに出かけたものです」と当時のエピソード等を交る話してくれました。

横芝町職員

(有線放送員)募集

採用 四月一日
採用予定人員 若干名
受験資格

1 昭和二十二年四月二日から昭和二十九年四月一日までに生れた女子で日本国籍を有する者
2 地方公務員法第十六条に定められた欠格事項に該当しない者
受験申込票の請求先及び提出先
横芝町役場総務課
受験申込締切期日
昭和四十七年二月末日
試験日 追って申込者に通知する

高校通信

教育生を募集

(千葉東校)

自宅で勉強し、月二回日曜日に登校、四年間の学習で全日制、定時制と全く同じ高校卒の資格が得られます。決して楽な道ではありませんが、自由な時間に勉強ができ、マイペースで学習を進めることができるのは通信教育の利点です。

願書受付 三月十日から四月九日(本人が持参)
詳細は県立千葉東高校通信制課程、TEL 0472(51)9223へ、